

(日本語訳)

## 世界の指導者と武力紛争下にある関係者への公開レター

平和は、子どもの心のなかで生まれます。

しかし、世界では武力衝突が未だに絶えることなく、何百万という子どもたちが、平和とはほど遠い人生をよぎなくされています。世界のどこに生まれ落ちるかが、その後の人生を幸福で健康的に送るか、もしくは戦争とその恐怖しか知らない混乱のなかで過ごすかの命運を分けます。

戦争や紛争は、大人たちが引き起こします。しかし、大人たちもかつては子どもでした。子ども時代の体験や受けた指導が、その後の人生を左右します。その中心にあるのが教育です。学校は、人生のリハーサル場です。そこで形成された価値観は、他者を判断する基盤となります。

しかし、世界では7,000万人以上の子どもが学校へ行くチャンスさえない状況にあり、このうち半数以上が武力紛争の影響下にある国々で暮らしています。この子どもたちは、今、いったい何を学んでいるのでしょうか？子どもたちやその家族は、何度も指導者や世界に教育を求めてきました。子どもたちに、混乱と混とんではなく、教育に専念できる熱意ある教師と包括的なカリキュラムを。質の高い教育により、情報へのアクセスが可能になり、物事を客観的に捉える力が養われます。そして、物事を平和的な方法で変化させることができるようになります。

今日11月20日は、世界子どもの日であり、国連総会で「子どもの権利条約」が採択された記念日にあたります。私たちはここに、すべての子どもたちが質の高い教育を受けられるよう、そして教育によって子どもたちに平和で繁栄した未来が約束されるよう、緊急に求めます。

ここに署名した私たちは、武力紛争に関わる政府と関係者に、平和と安全の場としての学校の尊重と普及を求めます。

- ・いかなる人種や宗教、言語にかかわらず、すべての子どもが質の高い教育を受けられること
- ・すべての子どもが暴力、威嚇、徴兵の恐怖に捕われることなく、学ぶことができること
- ・すべての子どもが、総合的な教育によって自由な思想を養うこと、また教育が家族や地域社会に説明可能なものであること
- ・すべての平和構築の段階で質の高い教育が必ず組み込まれること

子どもたちは、支障や詳細について議論している間も、教育を待てないのです。

今すぐに始めなければなりません。平和は子どもの心のなかで生まれるものだからです。